

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

医療機関コード	1311315233					
病院名	日本赤十字社医療センター					
所在地	東京都渋谷区広尾4-1-22					
管理者氏名	院長・中島 淳					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	645床	0床	0床	0床	0床	645床
承認年月日	平成24年9月28日					

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	ア 紹介率80%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	90.2 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	13,233 人
	②初診患者数	22,571 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	3,138 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	4,770 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	87.3 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	12,800 人

2 共同利用の実績

(1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	院長
登録医療機関数	648 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	648 件

(2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	349 件
共同診療件数	291 件
高額医療機器共同利用件数	202 件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	15.9 %
共同利用可能な医療機器	CT、PET-CT、MRI、上下部内視鏡、シンチグラム
共同利用可能な施設等	建物の全部

3 救急医療の提供の実績

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	4,798 (3,138)
救急搬送以外の救急患者数	9,318 (4,770)
合計 (うち初診患者数)	14,116 (7,908)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	EICU、EHCU、救命救急センター CT、MRI、心カテ、アンギオ、内視鏡、手術室 ※24時間体制だがMRI検査は部位によっては24時間困難な場合もあり
優先使用可能な病床数	26 床
専用病床数	26 床

(3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	15人	7人
うち専従数	0人	0人
看護師数 (准看護師含む)	18人	0人
うち専従数	0人	0人
薬剤師数	52人	2人
うち専従数	0人	0人
診療放射線技師数	47人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	59人	2人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	23人	0人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	(救急救命士) 2	10人

(4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	臨床研修運営委員会
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	39 人
研修施設	日本赤十字社医療センター 3階講堂 日本赤十字社医療センター 1 2階多目的室Web

(2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	13 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	4 回
研修会延べ参加人数	898~938 人
うち院外のみでの延べ参加人数	394 人
症例検討会の開催回数	0 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	13 回
研修の内容	日本赤十字社医療センター-Palliative Care Conference (PCC) 薬業連携の会 間質性肺疾患 看護ケアセミナー〜リハビリテーションと栄養について〜 第1回Total Renal Care Seminar地域で支える腎不全医療 渋谷区医師会 日赤合同講演会

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長
管理担当者	医療情報課長
診療に関する諸記録の管理方法	電子カルテに保存。紙媒体はスキャン後、ファイルにとりまとめ医療情報課文書係へ送達する。医療情報課文書係は院内カルテ保管庫へ保管および整備等を行う。
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	院内カルテ保管庫に一時保管後、外部保管庫へ移管する。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長	
閲覧担当者	医療情報課長	
閲覧方法	医療情報課文書係に借覧票を提出のうえ、貸し出す。	
前年度の総閲覧件数	159 件	
閲覧者別延べ件数	医師	70 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	89 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	副院長 兼 胃・食道外科部長 兼 患者支援室室長
委員数	23 人
うち院外	8 人
委員会の開催回数	4 回
委員会の概要	<p>■第1回：2024年7月25日 日本赤十字社医療センター第一会議室、Web会議 (zoom) 報告事項 (1) 地域医療機関からの紹介患者状況 (紹介率・逆紹介率等) (2) 医療連携に関するお知らせ 意見交換 医療連携に対するご意見、ご要望</p> <p>■第2回：2024年9月19日 日本赤十字社医療センター第一会議室、Web会議 (zoom) 報告事項 (1) 地域医療機関からの紹介患者状況 (紹介率・逆紹介率等) (2) 高額医療機器共同利用件数 (3) 医療連携からのお知らせ 話題提供 日本赤十字広尾訪問看護ステーション 意見交換 医療連携に対するご意見、ご要望</p> <p>■第3回：2024年11月21日 日本赤十字社医療センター第一会議室、Web会議 (zoom) 報告事項 (1) 地域医療支援病院業務報告 (2) 医療連携からのお知らせ 話題提供 日本赤十字社医療センターにおける最近の動き「不明熱外来について」 意見交換 医療連携に対するご意見、ご要望</p> <p>■第4回：2025年1月23日 日本赤十字社医療センター第一会議室、Web会議 (zoom) 報告事項 医療連携からのお知らせ 話題提供 日本赤十字社医療センターにおける最近の動き「間質性肺炎センターの状況」 意見交換 医療連携に対するご意見、ご要望</p>

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者支援センター内相談ブース・病棟面談室等
主たる相談対応者	看護師、医療ソーシャルワーカー
相談件数	31,988 件
相談の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護や療養生活に関すること ・介護保険の利用や社会保障制度、福祉サービスに関すること ・訪問看護や訪問診療の利用、転院先や福祉施設等への入所に関すること ・医療費や生活費など経済的な不安に関すること ・受診や治療、検査、処置、看護ケア等に関すること ・医療者等との関係に関すること ・虐待等に関すること ・要望や苦情等

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	S評価：5、A評価：73、B評価：11、C評価：0

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<p>各種病院パンフレット・病院情報誌等の発行、ホームページ・公式Youtube・Instagramの公開、院外の医療従事者や患者さんを対象とした講演会・研修会・市民公開講座等の案内、医療機関への訪問を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パンフレット (診療科案内) <ol style="list-style-type: none"> (1) 対象 近隣医師会、登録医療機関 (2) 発行部数 1,500部 (3) 発行時期 年1回 2. 院内情報誌 (TeaTime) <ol style="list-style-type: none"> (1) 対象 患者、近隣医師会、登録医医療機関 (2) 発行部数 4,500部/回 (3) 発行時期 季刊 (年4回) 3. 医療連携ブック <ol style="list-style-type: none"> (1) 対象 近隣医師会、登録医療機関、訪問先医療機関 (2) 発行部数 2,000部 (3) 発行時期 年1回 4. ホームページ (http://www.med.jrc.or.jp/)の公開 最新情報、診療科案内、紹介患者診療・検査予約方法のご案内、登録医制度のご案内、セカンドオピニオンのご案内等 5. 公式Youtube、公式Instagramの公開 市民公開講座Youtubeの公開、患者向け院内紹介、イベント情報の配信 6. 院外向け講演会・研修会等の案内 各種講演会案内の発送およびメール配信 医療連携懇談会、日本赤十字社医療センターPalliative Care Conference (PCC)、地域助産師交流会、薬薬連携の会、市民公開講座 7. 医療機関訪問 各診療科の紹介、病診連携強化

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	<p>担当部署：患者支援室 療養支援課 人員：管理者（看護師）1名、入退院支援看護師18名、薬剤師1名、医療ソーシャルワーカー8名</p> <ul style="list-style-type: none">・入院支援 <p>予定入院患者に対して生活状況や服薬状況、必要に応じて休薬指導等を行うと共に、入院に伴うリスクアセスメントをした上で入院病棟や必要に応じて地域関係者と連携し、安全に安心して入院治療等が受けられ、早期に退院支援が展開できるように取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none">・退院支援、調整 <p>患者の状態、家族状況、意向等を踏まえて、ゴールを見据えながら入院病棟と連携して療養場所の意思決定支援を行う。そして、院内外の関係者と連携・協働しながら退院後の療養環境を整え、円滑に在宅や適切な療養場所に移行できるように取り組んでいる。</p>

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	<ol style="list-style-type: none">1. 東京都がん地域連携クリティカルパス 都内医療機関が共通で利用できる5大がん（肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん）及び前立腺がんの地域連携クリティカルパス「東京都医療連携手帳」の利用促進に取り組んでいる。2. 東京都脳卒中地域連携パス 参画医療機関は、急性期病院が10医療機関、回復期病院が14医療機関である。医師・看護師および退院調整部門である医療ソーシャルワーカーが協力して東京都脳卒中地域連携パス使用を意識し、区西南部の参画医療機関との連携に取り組んでいる。3. 大腿骨近位部骨近位部骨折地域連携パス 平成30年11月より大腿骨近位部骨折地域連携パスの運用を開始。なるべく多くの症例にパスを適応できるよう参画医療機関との意見交換の上、パス患者のスムーズな連携に取り組んでいる。